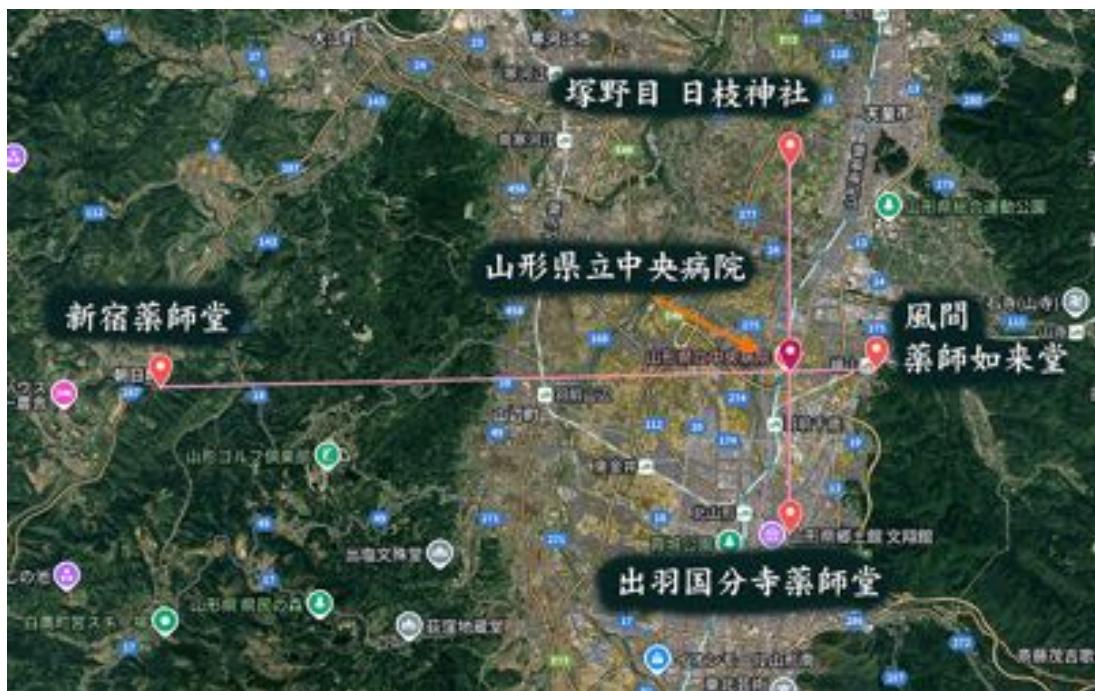


四方の薬師如来に護られている山形県立中央病院

●お薬師様は、病気や病気の苦しみを取り除き、願いを叶える「現世利益」の仏様として広く信仰されている。偶然見つけたのだが、山形県立中央病院はなんと東西南北四方向のお薬師様に護られていた。



■山形県立中央病院

2001年5月1日、山形市桜町に所在した旧病院（現：県民ふれあい広場が整備）が老朽化したことから山形自動車道山形北IC近接し、県内を縦断する幹線道路である国道13号も至近に整備されていた同市北部の青柳地区に新築移転して診察を開始した。翌年11月9日には、山形自動車道に新たに設置された救急車緊急退出路の運用も開始されたことから救急車によって直接中央病院への進入もできるようになった。

山形市青柳 1800 番地



■出羽国分寺薬師堂

聖武天皇が天平 13 年 (741 年) に発した国分寺建立の詔に基づき、当時の出羽国に建立された。創建期の寺院は、9 世紀に出羽国府が置かれた城輪柵の近隣に位置し、その跡地は国の史跡「堂の前遺跡」(酒田市法連寺) に比定されている。発掘調査の結果、伽藍配置は一般的な国分寺と異なり、寺院中軸線の西に塔、東に金堂を配する特殊な形式であったことが判明している。この配置は延暦 24 年 (805 年) の焼失後の再建時に形成されたとする見方が有力である。

平安時代後期以降、国府機能が内陸の山形 (現在の山形市) へ移転するのに伴い、国分寺もその地に移ったとされる。これが現在の出羽国分寺薬師堂 (山形市薬師町) であり、天台宗の寺院として法燈を継承している。室町時代の長禄 2 年 (1458 年) には法燈が山形に移っていたことが確認されており、その後戦国時代には最上義光の庇護を受けて現在地に移され、山形城の鬼門鎮護の寺院として発展した。

山形市薬師町二丁目 12-32



■風間 薬師如来堂

1764 年(明和元年)に建てられ、3 間四方(約 5.4m)の正方形の大きさで貴重な彫刻を見ることができます。鎌倉期(1203~1326 年)の慈覚大師によって作られたという薬師如来像があります。

●グーグルマップのコメントにも書いている方がいるが、以前に調べた時に出羽国分寺薬師堂の奥の院だと紹介されている記事があったが、いくら探しでも出てこなかった。だとすれば創建はもっと古いはず。如来像も鎌倉期となっている。



■新宿薬師如来堂 (東善寺 瑞璃殿)

創建年は不明。薬師如来を祀る東善寺 瑞璃殿 (堂) は、宝永 5 年 (1708) の棟札から、羽黒山修験の末寺で豊龍神社 (宮宿) を祀るもと東守寺の配下寺だったことが分かりました。木造薬師如来立像は平成 5 年に山形県有形文化財に指定されました。地方仏師の手によって、平安後期に造顕されたものと考えられています。『蒙古録』では、天地天皇の時代 (662~71) 京都誓願寺の本尊阿弥陀如来を造立した際、その余材をもって作り瑞璃殿に納めたとされています。毎月 8 日が“おようが”と呼ばれるお参りの日とされ、例祭は 5 月 8 日だったが、現在は第 2 日曜日に新宿区民をあげて賑やかに行われています。山形県朝日町新宿 ※サイトあさひまちエコミュージアムより抜粋



●グーグル地図上に記載はないが、現地を訪ねてスマホ地図で現在地を出して正確な位置を確認した。



■日枝神社 詳細不明 山形県天童市塙野目

●日枝神社 (山王権現) だが、天台宗の鎮守である日吉山王信仰に由来する山王三聖には三如来 (釈迦・薬師・阿弥陀) が配されており、特に山王権現の本体としては薬師如来が重要視されてきたとある。



●風間の薬師如来堂と朝日町新宿の薬師堂をつなぐライン上に中央病院はある。さらに出羽国分寺薬師堂と天童市塚野目にある日枝神社をつなぐライン上にある。しかも、やや左に傾くがこの4社はほぼ東西南北に位置している。こんな偶然はあるのだろうか。中央病院は重症患者を対象にした病院でかかりつけの医療機関からの紹介状が必要とされるらしい。山形県で最も高度な治療をする公立病院と言える。



●はたして、中央病院建設の時に県の担当者はこのことを知っていたのだろうか。どなたがこの位置を決めたのだろうか。薬師様やお釈迦様の厚い思し召だろうか。

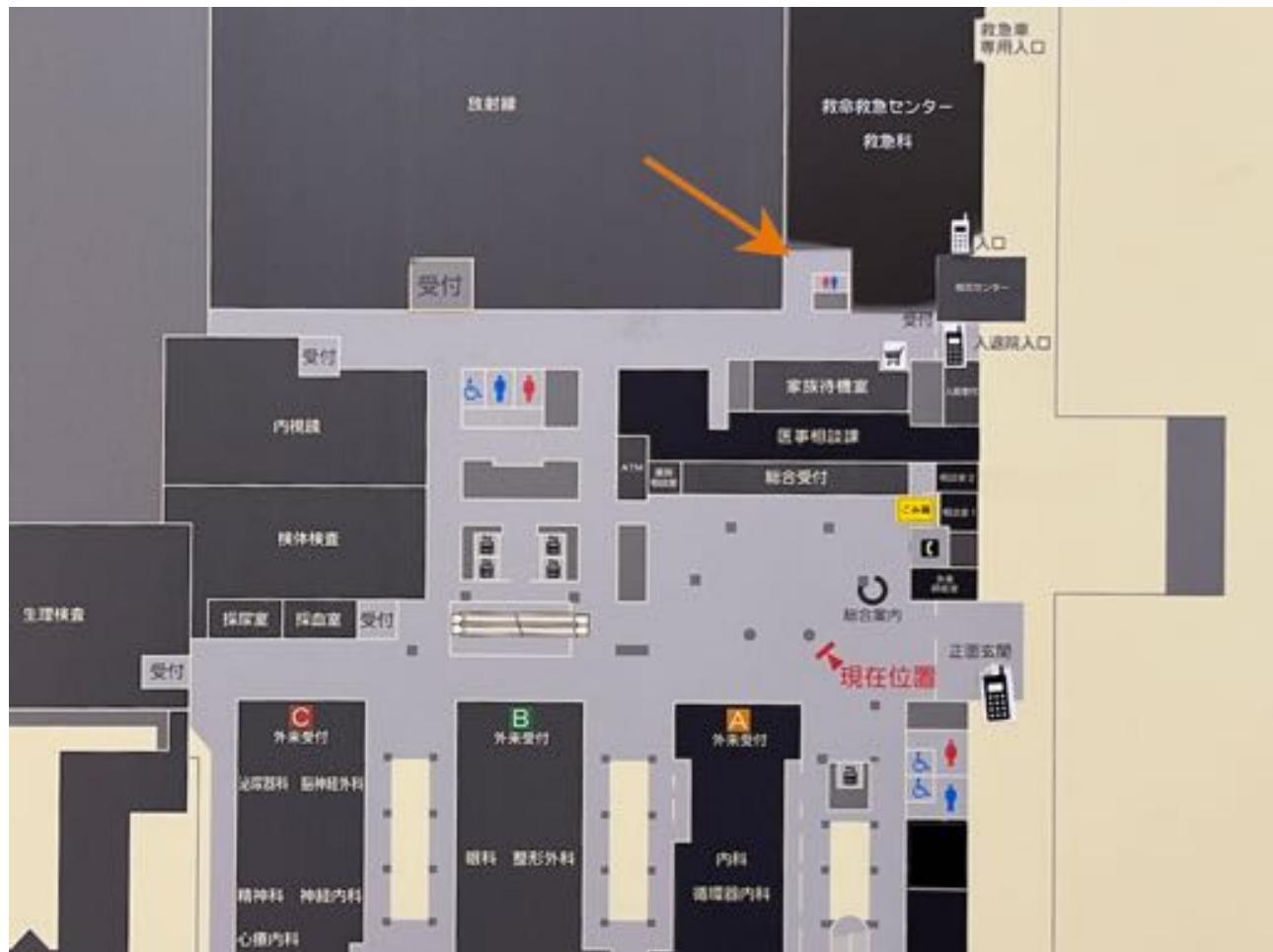
●通院・入院なさっている方やご家族はこの四社を巡礼されることをお勧めする。そして入院されている方は病棟から東西南北に向かって毎日祈られることも。風間の薬師如来堂は東病棟の各階休憩所から三角屋根を目視できる。四社を遥拝できる窓を掲示しておくとか、ラインの交わる位置に簡単な祈りの場を作ってはいかがだろう。患者の心の拠り所となるのではないだろうか。

(2025年11月1日 竜天太陽記)

[追記 2025. 12. 1]

●ラインのクロスする正確な場所を特定するために病院内を見てきた。建物の中では特定はできなかつたが、撮影してきた病院内の見取り図と写真地図を照らし合わせて、やっと特定できた。2階は栄養管理室で一般者は入れないが、1階は入り込めそうな場所のようだ。

●救命救急センターの家族待機室のところにあるトイレの突き当たりの壁。



●救命救急センターは生きるか死ぬかの重症患者を診る所。待機しているご家族の心配や不安はそうとうだろう。そんな時、目の前のトイレの突き当たりの左角あたりで、薬師如來の真言「オン コロコロ センダリマトーギ ソワカ」を心の中で熱心に唱えると四方の如来様たちが力を貸してくれことだろう。もちろん、入院されている方やご家族もこの場所で病気平癒を祈願してみてほしい。この壁に護符(紙)をいただきいて貼らせてもらいたいものである。トイレの構造がどうなっているかは、次回行った時にもう一度確認して撮影してこようと思っている。

●天童市塙野目の「日枝神社」も訪ねてみた。とても清々しい場所に感じた。蔵でできた社殿には鈴ではなく仏神用の鰐口がぶら下がっていた。明治の神仏分離令前までは山王権現社だったのだと思われる。グーグルマップで表示される塙野目甲382にナビを設定すると塙野目集会所に着いてしまった。地図を見てたどり着くことができたが、アイホンの地図だと塙野目甲北293-2と表示された。訪ねられる方はご注意を。



[追記 2026. 2. 7]

●山形県立中央病院のクロスする位置を見てきたので報告いたします。ここです↓



見取り図と違って突き当たりは壁ではなく、救命救急室につながる廊下でした。

左が「頭部血管撮影室」の前。天井にある丸い換気扇の真下あたりだと思われます。

●こここそが山形県立中央病院の神聖なパワースポットです！

手前の椅子に座って、病気平癒を祈りましょう！